

外で使用していたマスクのケア ～マスク（布）の洗い方～

布マスクの洗い方

※ご注意

- ・綿素材のガーゼなどを想定した洗い方のご紹介です。
- ・「使い捨てマスク」は、ウイルスをキャッチする性能が低下するため、基本的に、再利用はおすすめしません。



翌日の使用に備えて、マスクに付着したウイルスを除きましょう。

マスクは、くしゃみや咳などの飛沫からウイルスを拡散することを防いだり、手に付着したウイルスが手を介して口や鼻に直接触れることを防ぐために有効です。

1. 標準濃度の衣料用洗剤（使用量の目安に従って洗剤を水に溶かしたもの）にマスクを10分ひたし、水道水でためすぎをしたあと、マスクの水気をきる。
2. 塩素系漂白剤15mlを水1Lに溶かして、マスクを10分ひたす。
3. 水道水を用い充分にすすぐ。
4. 清潔なタオルに挟んで水分を吸い取る。
5. 形を整えて干す。

- ✓ 炊事用手袋を使用する。
- ✓ 複数のマスクを一度に洗わない。
- ✓ 1の洗剤液とすすぎ水にはウイルスが含まれている可能性があるため、洗剤液の飛沫に接触しないように密閉できる金属以外の容器（蓋つきのバケツ、蓋のできるプラスチック製の容器など）で処理する。絶対に蓋つきでなくてもはならないわけではありません。
- ✓ 1の洗剤液とすすぎ水は、1Lあたり15mlの塩素系漂白剤を加えて10分放置してから捨てる。
- ✓ マスクの繊維をいためる可能性があるため、もみ洗いはしない。
- ✓ マスクを洗濯した後は、充分に手を洗う。

そのまま流しても構いません。

※銀イオンなどで抗菌を訴求しているマスクには、この洗い方は適しません。

※お手持ちの製品の表示をご確認ください。

※色物・柄物は変色する可能性があります。